

## 研究活動報告(アルファベット順)

2021年(1月1日から12月31日)における専任教員の研究活動歴である。ここに掲載されているものは、大阪女学院大学・短期大学研究活動委員会の依頼に応じて、各専任教員が自己申請したものに限定されていることを付記する。研究活動歴は以下のように分類される。

氏名, (専門領域), I.著訳書, II.学術論文, III. その他の著作(研究ノート, 報告書, 雑誌, 新聞, ニュースレター等), IV.学会発表, V.その他の発表(シンポジウム, 講演, 放送等), VI.学会および公的な機関の委員, VII.科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

**Cornwell, Steve** (コーンウェル・ステイブ) [TESOL, Education, Curriculum Design]

### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) Cornwell, S. (2021, 8). A life changing experience. SIT MAT@50. Brattleboro, VT

### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) International Academic Forum (IAFOR) President of Academic Governing Board, January 1, 2017 to present
- (2) Japan Association for Language Teaching (JALT) Editorial Advisory Board, JALT Journal, continuing from last year through 12/31/2021.
- (3) Japan Association for Language Teaching (JALT) Editorial Advisory Board, The Language Teacher, continuing from last year through 12/31/2021.

**Custance, Imogen M.** (カスタンズ・イモージェン) [TESOL, Vocabulary, Production]

### IV. 学会発表

- (1) "Pen or Keyboard? Investigating the impact of task modality on writing fluency development." JALT 2021, online, November 14, 2021.

### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) "Investigating the impact of dictation post-tasks on production." Osaka Jogakuin University and College Research Presentations, Osaka Jogakuin, February 3, 2021.

**円城 由美子** (えんじょう・ゆみこ) [国際関係, 平和構築, 難民・国内避難民, ジェンダー]

### I. 著訳書

- (1) 「対イラク支援——続く紛争との闘い」, (阪本公美子, 岡野内正, 山中達也編) 『日本の国際協力 中東・アフリカ篇: 貧困と紛争にどう向き合うか』 ミネルヴァ書房, (pp.52-60), 2021年8月, 共著

### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 書評「ルポルターージュ「イスラムに生まれて——知られざる女性たちの私生活」」, 『FACTA』(178号) 2021年2月号, 2021年1月20日発刊, p.35, 単著
- (2) 書籍紹介『ガザに地下鉄が走る日』, RIICC Newsletter, 第15号, p.7, 2021年10月, 単著

**夫 明美** (ふ・あけみ) [英語教育]

### II. 学術論文

- (1) 「Practical improvements in a short-term study abroad program in Hilo, Hawai'i: through plan-do-see procedure」, 『大阪女学院短期大学紀要』第50号, 2021年3月, 単著

船越 多枝(ふなこし・たえ)〔経営学(組織論・組織行動論, 特に組織のインクルージョン・マネジメント, 企業におけるダイバーシティ・マネジメントとインクルージョン, 企業におけるグローバル人材の育成). Management Studies. (Organizational Management, Organizational Behavior: Diversity and Inclusion in Japanese companies, Human Resource Development)〕

#### I. 著訳書

- (1) 『インクルージョン・マネジメント－個と多様性が活きる組織』白桃書房, 292ページ, 2021年9月, 単著.

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「Point of View: ダイバーシティ推進は「勢い」から「丁寧さ」へーインクルーシブな多様性のマネジメント」, 『組織科学』, 第55巻第2号, 2021年12月, 単著.

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「インクルージョン・マネジメントについて学ぶ」, 日本人材マネジメント協会 アカデミア・プラクティス研究会, 於: Zoomオンライン講演, 2021年10月28日.
- (2) 「インクルージョン・マネジメント～風通しの良い職場風醸成のために～」, 株式会社日本政策金融公庫 近畿ブロックダイバーシティ勉強会, 於: 日本政策金融公庫大阪支店, 2021年11月8日.

#### VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「がんサバイバーの職場における活躍と課題: インクルージョン概念と制度活用への着目」, 科学研究費助成事業(科研費) 若手研究, 令和2年度～令和5年度.

箱根 かおり(はこね・かおり)〔Japanese Education, Instructional Design, Assessment〕

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “Connecting Communities—a Book Trailer Contest in Japan”, *Global EdTech*, February 2021, Individual work

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “間違えることを恐れないマインドセット”, コンピュータ専門学校, 2021年1月13日
- (2) “G Suite 101”, コンピュータ専門学校, 2021年1月13日
- (3) “Apple Teacher Hands on Workshop: Keynote”, コンピュータ専門学校, 2021年1月13日
- (4) “効果的なメッセージの伝え方 プレゼンテーションデザイン”, コンピュータ専門学校, 2021年1月14日
- (5) “自ら行動を起こして周りを幸せに”, コンピュータ専門学校, 2021年1月14日
- (6) “写真でメッセージを伝える”, コンピュータ専門学校, 2021年1月14日
- (7) “アクセシビリティとコンピュータ”, コンピュータ専門学校, 2021年1月14日
- (8) “保護者へのデジタルシチズンシップ教育のアプローチについて”, GEG新宿, 2021年3月25日
- (9) “より良い遠隔授業に向けてテクノロジー活用法を学ぶ”, 日本医療福祉大学, 2021年3月17日
- (10) “協働作業を通して学びを深める”, オンライン, 2021年4月10日
- (11) Advanced Google Workspace Training, オンライン, 2021年4月13日14日
- (12) “テクノロジーを活用した遠隔授業”, 東洋大学, 2021年6月14日
- (13) “ブックフィルムフェスティバルを通した新たな学びの形”, 鳥取商工会議所, 鳥取県立図書館, 2021年6月30日
- (14) “管理者向けウェビナー「年齢に基づく制限」”, GEG新宿, 2021年9月23日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) International Baccalaureate Organization, 2006-Current
- (2) Japan Association of Language Teaching, Tech Advisory and Support Committee, 2018-Current

- (3) Japan Association of Language Teaching, Okinawa Chapter, PR/Translator, 2019-Current
- (4) Book Film Festival, Founder/Professional Development Manager, 2007-Current
- (5) GEG 新宿, Leader, 2015-Current

**幡新 大実** (はたしん・おおみ) [英米法, 比較法, 人権法]

**I. 著訳書**

- (1) “Comment on Civil Enforcement Reforms from A Comparative and Historical Perspective”, Deguchi, M., ed, *Effective Enforcement of Creditors' Rights, Ius Gentium: Comparative Perspectives on Law and Justice* vol. 91, Springer, (pp. 89-94), December 2021. 共著

**II. 学術論文**

- (1) 「自由権の起源～法の適正過程による市民的自由権保障のローマ法起源説」『大阪女学院大学紀要』第18号2021年12月単著

**III. その他の著作 (研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)**

- (1) 「イギリスのリーガル・プロフェッションの変動と多様性」『比較法研究』82号4-17頁 (2021年12月) 単著
- (2) 「専制と自由3」『大阪女学院大学国際共生研究所通信』第15号2-4頁 (2021年11月) 単著

**IV. 学会発表**

- (1) 「イギリスのリーガル・プロフェッションの変動と多様性」比較法学会第84回総会シンポジウム「リーガル・プロフェッション論」オンライン, 開催日2021年6月6日

**V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 「平和・安全保障のための意思決定における女性参画促進と民法の論理」大阪女学院大学国際共生研究所第74回平和・人権研究会2021年1月20日
- (2) 「日本民法の事務管理とイギリス信託法の比較研究」末川民事法研究会7月25日第2報告於立命館大学 (オンライン)
- (3) 「日本民法の不当利得・事務管理と英米衡平法の比較研究」末川民事法研究会10月24日第2報告於立命館大学 (ハイブリッド)

**Head, Philip** (ヘッド・フィリップ) [Sociolinguistics, Teaching English as a Foreign Language]

**IV. 学会発表**

- (1) “Student Reflections on Effectiveness of Shadowing and Listening Practice. JALT2021 Reflections and New Perspectives, Online, November 14, 2021”
- (2) “Genki: Case study of benefits for foreigners producing theatre in a Japanese regional dialect. JALT2021 Reflections and New Perspectives, Online, November 13, 2021”
- (3) “Student Reflections on Effectiveness of Shadowing and Listening Practice. Hiroshima JALT, Online, November 7, 2021”

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) Performance in Education SIG, Publications Chair, Since November 2014.

**VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究**

- (1) Investigating the extent to which speech rater judgement relates to objective speech measures. Japan Society for the Promotion of Science (JSPS), Kakenhi (Grants-in-aid for Scientific Research) Type C, 19K00931. From April 2019

**樋川 和子** (ひかわ・かずこ) [軍縮・不拡散]

**II. 学術論文**

- (1) 「第10回NPT運用検討会議に向けて－NPT運用会議の結果と核不拡散を巡る動向に関する考

察と今後の展望』、『軍縮研究』10(1) 4-15, 2021年7月, 単著

### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 書評: 西田充著「核の透明性-米ソ・米露及びNPTと中国への適用可能性」, 『RECNAニュースレター』Vol.10 No.1, 2021年9月, 年単著

### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「核軍縮の実質的な進展のための1.5トラック会合」, コメンテーター, 外務省, 2021年3月9日
- (2) 「核軍縮・核不拡散・核セキュリティを巡る2020年の動向と2021年の課題・提言」, コメンテーター, (公財)日本国際問題研究所軍縮・科学技術センター, 2021年3月30日
- (3) 「安全保障研究セミナー 福島第一原発事故から10年: 国内外事情と原子力利用の今後」, パネリスト, コメンテーター(公財)笹川平和財団, 2021年5月19日

### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 国連軍縮検証政府専門家グループ, 委員, 2021年-2022年
- (2) 日本国際問題研究所軍縮・科学技術センター, 客員研究員, 2021年4月-2022年3月
- (3) へいわ創造機構ひろしま「ひろしまレポート作成事業」, 委員, 2021年12月1日-2022年3月31日

### VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「安全保障を損なわない核軍縮: 処方的アプローチによる政策課題群の学際的分析と提言」, 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B), 2021年4月-2024年3月

Johnston, Scott (ジョンストン・スコット) [International education, intercultural communication]

### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “Researching your Own Learning while Online: Women’s Global Leadership Independent Study.” *OJU Kyoshoku Katsudohokoku & Kenkyu* [OJU Report on Teacher Training Activities and Research], Vol 11, March 1, 2021, pp.68-69, individual work

### IV. 学会発表

- (1) “Online International Collaboration: It’s just a click away.” SIETAR, Kansai, Japan, Zoom, June 27, 2021, joint

加藤 映子(かとう・えいこ) [言語習得, ICTを活用した教育]

### I. 著訳書

- (1) 「ハーバードで学んだ最高の読み聞かせ」(単著) 第二版 かんき出版, 2021年3月
- (2) 「ハーバードで学んだ最高の読み聞かせ」(単著) 第三版 かんき出版, 2021年9月

### II. 学術論文

- (1) 「大学とは何をする場所なのか?」(単著) 『大学時報』No. 397, 2021.3

### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 年頭所感「祈りと願い」私学経営研究会『私学経営』No. 551, 2021.1発行
- (2) 「大学とは何をする場所なのか」Wilmina Voices No. 43, 2021.3発行
- (3) 絵本とことば 第16号 2021.4発行
  - (ア) 今季の絵本「とんことり」単著
  - (イ) 「加藤映子の留学物語Vol.16」単著
  - (ウ) ほんの千夜一夜「世界一のロボット掃除機「ルンバ」を作った男 コリンアングル「共創力」」単著
  - (エ) 子どもとことば「ハルちゃんの軌跡」16 単著
  - (オ) 英語で絵本「Good Morning」単著
  - (カ) 「大阪女学院こぼればなし」単著

- (4) 絵本とことば 第17号 2021.7発行
- (キ) 今季の絵本「へいわってどんなこと？」単著
  - (ク) 「加藤映子の留学物語Vol.17」単著
  - (ケ) ほんの千夜一夜「絵本作家ターシャ・チューダー」単著
  - (コ) 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」17 単著
  - (カ) 英語で絵本「英語のてあそびうた」単著
  - (シ) 「大阪女学院こぼればなし」単著
- (5) 絵本とことば 第18号 2021.10発行
- (ア) 今季の絵本「ハロウィーンってなあに？」単著
  - (イ) 「加藤映子の留学物語Vol.18」単著
  - (ウ) ほんの千夜一夜「TBSラジオ全国こども電話相談室1」単著
  - (エ) 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」18 単著
  - (オ) 英語で絵本「Sandwich! Sandwich!」単著
  - (カ) 「大阪女学院こぼればなし」単著
- (6) 絵本とことば 第19号 2021.12発行
- (ア) 今季の絵本「クリスマスのまへのぼん」単著
  - (イ) 「加藤映子の留学物語Vol.19」単著
  - (ウ) ほんの千夜一夜「サンタクロースっているんでしょうか？」単著
  - (エ) 赤ちゃんとことば「ハルちゃんの軌跡」19 単著
  - (オ) 英語で絵本「できるかなあたまからつまさきまで From Head to Toe」単著
  - (カ) 「大阪女学院こぼればなし」単著

#### IV. 学会発表

- (1) “Good Practice: Daily Chapel Service at Osaka Jogakuin University & College” 2021 ACCUA Management Conference and 24th General Assembly (Online), 2021年12月3日
- (2) “Outlook of Global Higher Education and Bilingual Education in the Post-COVID 19 Era” Invited panelist, Shih Chien University, 2021 International Symposium (Online), 2021年12月22日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) インタビュー「ハーバードで学んだ最高の読み聞かせ」2021年1月21日, JFN「OH! HAPPY MORNING」
- (2) 大阪キリスト教短期大学 卒業礼拝奨励「たいせつなきみ」2021年3月11日, 於:大阪キリスト教短期大学
- (3) 招待講演「世界最高の読み聞かせ」2021年5月9日オンライン開催, 於:心齋橋パルコ 天狼院書院
- (4) 座談会「オンライン授業からの気付きー語学教育ー」『大学時報』No. 398, 2021.5
- (5) 夢ナビオンデマンド講義・講義ライブ質問対応・研究室訪問「はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」2021年7月10日, 11日, 主催:フロムページ
- (6) 招待講演「子どものことばを育む絵本の読み聞かせ～思考力・読解力・伝える力が伸びる～」令和3年度朝来市教育研修所教育研修会(全体研修) 2021年7月30日, 於:朝来市和田山ジュピターホール
- (7) 堺市さかいっこひろば講演「最高の読み聞かせ」2021年8月 於:堺東 堺っこひろば
- (8) 招待講演「ダイアロジックリーディング」2021年9月11日オンライン開催, 主催:ベビーアカデミー
- (9) インタビュー記事「キリスト教に基づく人格形成を目標とし, 人と人との関わりあいのなかで自己を磨く」AERA MOOK『就職力で選ぶ大学』, 2021年9月15日

- (10) 夢ナビライブ秋 質問対応・研究室訪問「はらぺこあおむしで読み解く日米教育事情」2021年10月3日, 主催: フロムページ
- (11) 招待講演「キャリア講演会 神田女学園中学校高等学校の皆さんへ」2021年10月15日, 於: 神田女学園中学校・高等学校
- (12) インタビュー「読み聞かせについて」2021年11月2日, 日本テレビ系列「スッキリ」

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 私学研修福祉会平成29・30年度私立大学の教育・研究充実に関する研究会(短期大学の部) 運営委員 2017年4月～現在にいたる
- (2) 大阪YMCA評議員 2017年6月～現在にいたる
- (3) 私立大学連盟理事長会議 幹事 2018年4月～現在にいたる
- (7) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 大学機関別認証評価委員会専門委員 2021年5月～現在にいたる
- (8) 大阪私立短期大学協会 副会長・理事・広報担当 2020年4月～現在にいたる
- (9) 日本私立短期大学協会 常任理事 2020年6月～現在にいたる
- (10) 公益財団法人大阪府私学総連合会 評議員 2020年6月～現在にいたる
- (11) 一般財団法人大学・短期大学基準協会 評議員 2020年6月～現在にいたる

小松 泰信(こまつ・やすのぶ) [図書館情報学・情報リテラシー]

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「情報リテラシー教育におけるエンベディッド・ライブラリアン: 「デジタルレファレンスオンライン」による学修支援の試み」, 『大阪女学院大学紀要』, (17), 2021年3月1日, 共著

#### IV. 学会発表

- (1) 「デジタルレファレンスによる個別学修支援」, 日本図書館研究会 第369回研究例会 於: オンライン, 2021年7月24日
- (2) 「丸本郁子先生の足跡: 戦う図書館人が未来に残したもの」, 日本図書館研究会・図書館を学ぶ相互講座, 第6回 於: オンライン, 2021年9月25日

前田 美子(まえだ・みつこ) [比較・国際教育, 開発教育, 国際協力, 理科教育, 教育方法, 教師教育, ファシリテーション研究]

#### II. 学術論文

- (1) Maeda, M. (2021) "Exam cheating among Cambodian students: when, how, and why it happens", Compare: A Journal of Comparative and International Education, 51 (3), pp.337-355. (Reviewed)
- (2) 「カンボジアにおけるカンニング行為-開発援助の影響に着目して-」第22回国際開発学会 春季大会 大会論文集 p.34-38

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 文献紹介: ダニエル・A・ワグナー著, 前田美子訳『SDGs時代の国際教育開発: ラーニング・アズ・ディベロップメント』比較教育学研究 63号 p.188

#### IV. 学会発表

- (1) "Exam cheating in school: The experience of Cambodian students", The Comparative and International Education, 65th Annual Conference (virtual conference), April 25-May 2, 2021 (Reviewed poster presentation)
- (2) 「カンボジアにおけるカンニング行為-開発援助の影響に着目して-」, 第22回国際開発学会 春季大会, 文教大学(オンライン開催), 2021年6月12日
- (3) 「開発途上国におけるカンニング行為-教員はどのようにかかわっているのか」, 早稲田大学

教師教育研究所 2021年度第1回構成員研究会, 早稲田大学(オンライン開催), 2021年6月19日

- (4) 「一党独裁体制下の教育におけるアカウントビリティー猫の首に鈴をつけることができるのは誰か?」, 日本比較教育学会第57回大会, 筑波大学(オンライン開催), 2021年6月26日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) アドバイザー: グローバルキャンペーン「おにぎりアクション」, 於: 大阪女学院大学およびJICA関西, 2021年10月~11月
- (2) 企画: 講演会「災害とSDGs」, 大阪女学院大学国際共生研究所, 2021年12月3日

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 鳴門教育大学教員教育国際協力センター共同研究員 2012年8月より
- (2) Editorial board member of the International Journal of Comparative Education and Development (IJCED) 2015年10月より
- (3) 早稲田大学教師教育研究所 招聘研究員 2019年1月より

#### VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「開発途上国の学業不正に関する研究: 大学生のライフストーリーから」, 科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者, 平成29年度~令和3年度
- (2) 「国際教育開発としての日本型教育の輸出: 教員養成カリキュラムを事例に」, 科学研究費補助金 基盤研究(C), 研究分担者, 平成29年度~令和3年度
- (3) 「開発途上国の教員の副業に関する研究: 実態・背景・本業への影響に」, 科学研究費補助金基盤研究(C), 研究代表者, 令和3年度~令和6年度

**松尾 徹**(まつお・とおる) [協同学習, 語彙習得, 教員養成, 英語教授法(CLIL)]

#### II. 学術論文

- (1) A Rasch-based Validation of The Word Associates Test 大阪女学院大学紀要第17号, 2020 単著
- (2) Macro and Micro-investigation of the Relationships among Three Aspects of Lexical Knowledge, International Journal of Management and Leadership Studies, vol 3 (2), 2021 単著

#### IV. 学会発表

- (1) 「ラッシュモデルを用いたフレーズ語彙サイズテストの検証」外国語教育メディア学会 基礎理論研究部会 オンライン, 2021年9月16日
- (2) Creating Interactive Skill-based Units in World News Class, Annual International Conference on Language Teaching and Learning, online, November 14, 2021
- (3) Measuring Attrition of L2 Productive Vocabulary Knowledge Over the Summer Vacation, JALT Vocabulary SIG, Doshisha University, Kyoto, December, 4, 2021

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「協同学習に基づく, ペア・グループワーク」大阪女学院大学教員免許状更新講習, 2020年8月10日
- (2) 「教員に必要な振り返り」大阪女学院大学 教職課程 教育と人間, 2020年8月9日

**Miller, Richard**(ミラー・リチャード) [Political Economy, English as a Second Language, Leadership, Business]

#### II. 学術論文

- (1) ----- *Rejecting the Post-Westphalian Order (s): Rapprochement with the Anarchistic Norm.* The Hirao Management Review Vol. 11 CUBE Konan University pp. 41-61. (Individual)

- (2) ----- *Evolutionary biology in international relations against the backdrop analogy of professional sports*. Osaka Women's College Journal 50. (Individual)
- (3) ----- *Factors Influencing the Perspectives of Young Japanese Voters on Nuclear Energy and Armament Policies*. SMC/UCN University Dissertation, submitted March 14<sup>th</sup>, 2021. (453 pages) (Individual)
- (4) Ritchie, Z, Miller, R., , (2021) *A Critique of the Summit International Institute Seminar: Creating online study abroad opportunities during the Covid-19 pandemic*. Josai University 14: 2. (Co-Author)
- III. その他の著作 (研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)
- (1) Parrish, M. & Miller, R. Career development in the COVID-19 era. *The Word*, 30 (2), 23-25. February. (Co-Authored)
- (2) Miller, R., Takahashi, S. *From Japan to the Middle East and Africa*. JALT GILE Sig Newsletter. 119 August pp. 16-17.
- IV. 学会発表
- (1) ----- *International relations power diplomacy theories: Mackinder's Heartland Theory and the dual traps of Thucydides & Kindleberger*. Summit International Institute Summer Seminar. August 12<sup>th</sup>.
- (2) ----- *Mirco-considerations and motivations for migration of refugees in Korogocho: Challenges and responses*. The Eighth International Conference on Leadership "Strengthening Leadership and Integrity towards Sustainable Development" Management University of Africa, Nairobi. September 11<sup>th</sup>.
- (3) Miller, R., Parrish, M. *Career Coping Strategies for the COVID-19 Era*. 45<sup>th</sup> JALT National conference. November 22<sup>nd</sup>.
- V. その他の発表 (シンポジウム・講演・放送等)
- (1) ----- *Global employment opportunities in the age of COVID*. Public Lecture Management University of Africa, Nairobi. October 22.
- (2) Miller, R., Parrish, M., Ritche, Z. *The Nationalistic Drive Behind the 2020 Summer Olympics and the Coronavirus Pandemic*. Asia Centre 6<sup>th</sup> International Conference COVID-19 in Asia, Bangkok, Thailand. September 9.
- VI. 学会および公的な機関の委員
- (1) Peace as a Global Language, Executive Director. Since 2011.
- (2) Japan Association of Language Teachers (JALT):  
-SIG Officer Roles (Business SIG-Member at Large' Global Issues in Language Acquisition SIG-Member at Large; College and University Educators SIG Member at Large). Since 2013.  
-Job Information Centre (JIC) Co-Coordinator. Since 2012.
- (3) Academics Supporting Korogocho, Nairobi, Kenya. Founding Director. Since 2015.
- (4) Grapesyard NGO, Nairobi, Kenya. Board of Directors. Since 2019.
- (5) Changemakers NGO, Prince Rupert, Canada. Board of Directors 2020-2021.

森 均(もり・ひとし) [教育学]

I. 著訳書

- (1) 「着任式」「遠足・修学旅行」「周年行事」, (学校例話研究会編)『教師の話し方・例話講座』2021年度版, 学事出版, (pp.40-41, 64-65, 80-81), 2021年4月, 単著



## II. 学術論文

- (1) 「大阪府立学校長の年度途中退職等に関する実態調査結果について－1989年から2019年を対象に－」, 『摂南大学教育学研究』第17号, 2021年3月, 単著

## III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「生徒指導のベースはコミュニケーション」, 『摂南大学教育学研究』第17号, 2021年3月, 単著
- (2) 「大阪府立普通科高等学校における『総合的な探究の時間』の取組みについて」, 『大阪女学院大学・大阪女学院短期大学教職課程機関誌OJU/OJC教職活動報告・研究』Vol.11, 2021年3月, 単著

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) ベルランド看護助産大学校, 学校関係者評価委員会委員長, 2015年4月～現在
- (2) 国立病院機構大阪医療センター附属看護学校, 学校関係者評価委員, 2020年4月～現在
- (3) 法務省, 保護司, 2016年1月～現在

仲川 浩世(なかがわ・ひろよ) [英語教育学, 応用言語学, 英語ライティング・フィードバック研究]

## I. 著訳書

- (1) 『内省的フィードバックを取り入れた効果的な英語ライティング指導』 溪水社, 2021年3月, 単著.

## II. 学術論文

- (1) “Exploring collaborative learning in economics with visual aids.” *Journal of Economics Teaching*, vol. 6 (1), May 2021, joint.
- (2) “The impact of implementing homework on the development of Japanese EFL students’ writing.” *The Journal of Asia TEFL*, vol. 18 (3), September 2021, joint

## III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) *New Gateway to the TOEIC L & R TEST*. 金星堂, 2021年1月, 共著.
- (2) 「オンライン授業における大学初年次教育：学習者の気づきを促して」『大阪女学院短期大学紀要』第50号, 2021年3月, 単著.
- (3) “Factors predicting EFL learners’ perceived success of web-based distance learning.” *The JACET International Convention Proceedings: The JACET 60<sup>th</sup> Commemorative International Convention (Online, 2021)*, August 2021, joint.
- (4) 「Eメール交換プログラムにおけるライティングと異文化理解への効果」*CAJLE2021 Annual Conference Proceedings (Online)*, 2021年10月, 単著.

## IV. 学会発表

- (1) 「英語テキストの変遷に関する一考察」The 3<sup>rd</sup> JACET Summer (47<sup>th</sup>) and English Education (8<sup>th</sup>) Joint Seminar, オンライン開催, 2021年3月9日.
- (2) “A homework project for Japanese college students with writing anxieties.” Sociolinguistics Symposium 23, (オンデマンド香港, Kowloon), 2021年6月7日～10日.
- (3) 「協同学習支援を用いた英語ライティング授業実践」中国地区英語教育学会. オンライン開催. 2021年6月26日.
- (4) 「Eメール交換プログラムにおけるライティングと異文化理解への効果」CAJLE - カナダ日本語教育振興会2021年次大会, オンライン開催, 2021年8月20日.
- (5) “Factors predicting EFL learners’ perceived success of web-based distance learning.” The JACET 60<sup>th</sup> Commemorative International Convention (Online, 2021). 2021年8月29日.
- (6) 「ディズニース素材を用いた英語教育の一考察」ATEM(映像メディア英語教育学会)第26回国際大会, オンライン開催, 2021年11月6日.

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “The effects of implicit tasks on junior college Japanese EFL students' writing.” 大阪女学院大学学内研究会, 於: 大阪女学院大学, 2021年2月3日.
- (2) 「英語ライティングにおける修正フィードバック理論を用いた指導実践」大阪女学院大学教員免許状更新講習, 於: 大阪女学院大学, 2021年8月9日.

#### VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) 「協同学習支援を用いた英語ライティング指導の試み」基盤研究(C) 2018年4月～2022年3月  
研究代表者

中西 美和(なかにし・みわ) [臨床心理学]

#### II. 学術論文

- (1) 「やりとりを行う2者の関係性からみたラケット感情の経験プロセスの検討」, 『交流分析研究』45(2), pp.60-72, 2020年12月31日発行, 共著(筆頭)

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) 「カウンセリング概論」, 関西いのちの電話 第57期電話相談ボランティア養成講座, 於: JEC日本研修センター, 2021年11月17日, 講師

#### VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 日本臨床ゲシュタルト療法学会, 常任理事, 2019年～2021年
- (2) 日本人間性心理学会第41回大会 準備委員会事務局長, 2021年～2022年

奥本 京子(おくもと・きょうこ) [平和学・紛争転換学・非暴力介入論・平和ワークにおける芸術アプローチ・ファシリテーション論・メディエーション論・NGO論]

#### III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) 「部会7:「オンラインワークショップ:新型コロナウイルス感染拡大が気づかせてくれた平和教育の可能性」(平和教育プロジェクト委員会企画)」, 日本平和学会『研究大会・研究集会記録』第24巻第3号, 2021年2月1日, 単著
- (2) 「平和と芸術分科会 テーマ:ワークショップ 川柳で表現! 平和の一句 2020 ファシリテーター・報告者:佐藤壮広(立教大学) 司会:奥本京子(大阪女学院大学)」, 日本平和学会『研究大会集会記録』第24巻第3号, 2021年2月1日, 単著
- (3) 「佐々木和之・奥本京子 オンライン対談-アジアとアフリカ, 草の根の平和と和解を語り合う-」, 『ウプムエ:「佐々木さんを支援する会」会報』第54号, 2021年6月5日, 共著
- (4) 「研究活動報告 Project3」, 『大阪女学院大学国際共生研究所通信(RIICC Newsletter)』第15号, 2021年10月, 単著

#### IV. 学会発表

- (1) 「コロナ時代の平和構築:安全保障アプローチから平和アプローチへ」, #Projectぴ〜す第23回研究会, 於: オンライン, 2021年3月26日
- (2) 「平和教育のためのファシリテーション・アプローチ」, 部会2(平和教育プロジェクト企画)「ラウンドテーブル:新しい平和教育を語る, 創る」日本平和学会秋季研究集会, 於: オンライン, 2021年11月6日

#### V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Arts Building Peace.” Mindanao Peacebuilding Institute, Online, 2021年3月18日～5月20日, 毎週木曜日, 日本時間15:00～18:00, 10週間(resource persons: Babu Ayindo and Dessa Quesada Palm)
- (2) 「オンライン対談 佐々木和之X奥本京子 アジアとアフリカ, 草の根からの平和と和解を語り合う」, 佐々木さんを支援する会, 於: オンライン, 2021年4月30日

- (3) 「東北アジアの平和のビジョン：平和創造の主体であるわたしたち」, 2021年度フォローアップセミナープログラム「平和と和解のためのファシリテーター養成セミナー」, 世界宗教者平和会議(WCRP) 日本委員会, 於：オンライン, 2021年7月11日
- (4) “The Roles of the Arts, Education and Exhibition.” Programme: 2021 Summer Class of Peace Studies NJU for C9, Nanjing University, UNESCO Chair on Peace Studies at NU, NARPI, 於：オンライン, 2021年7月15日 (Co-facilitated by Ryoza Teruoka, Supported by Deting Lu)
- (5) 「「コロナ時代に平和を創る」安全保障アプローチから平和アプローチへ」, 西本願寺僧侶養成部「布教使課程全寮制コース」講義, 西本願寺, 於：オンライン, 2021年9月17日
- (6) “Message for Peace from East Asia: East Asian language, History, Art, and Empathy.” IUPUI Japanese Studies Program Presents Hiroshima Peace Conference Webinar, School of Liberal Arts, Japanese Studies, Indiana University (IUPUI), School of Global and International Studies, East Asia Studies Center (Hamilton LUGAR), 於：オンライン, 2021年10月2日 (共同出演者：Steve Leeper, Jaeyoung Lee, Liu Cheng, Lu Deting)
- (7) 「ワークショップ：平和教育を語り交わす」日本平和学会秋季研究集会, 於：オンライン, 2021年11月6日 (共同ファシリテーター：ロニー・アレキサンダー, 笠井綾, 鈴木晶, 高部優子, 暉峻僚三, 中原滯佳, 松井ケティ)
- (8) 「平和博物館の見え方, 感じ方を言葉にしてみる試み(その一)：広島平和記念資料館を事例として」日本平和学会秋季研究集会平和と芸術分科会, 於：オンライン, 2021年11月7日
- (9) 「セッション(3) 東アジア平和学対話への展望」日本平和学会第24期国際交流委員会「日中和平学オンライン交流会：東アジア平和学対話への襷りレー・プログラム」, 於：愛知大学, オンライン(ハイブリッド), 2021年12月4日

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) 国際トランセンド 認証トレーナー 2000年11月26日～現在に至る
- (2) 同上 東北アジア地域コンピーナー 2006年～現在に至る
- (3) トランセンド(平和的手段による紛争転換) 研究会 理事 2017年1月～現在に至る
- (4) 非暴力平和隊・日本 理事 2003年1月31日～現在に至る
- (5) 日本平和学会 平和と芸術分科会 副責任者 2012年2月～現在に至る
- (6) NARPI (Northeast Asia Peace Research Institute) 運営委員会委員 2009年～, 委員長 2014年～, 副委員長 2020年～現在に至る
- (7) ACTION Asia Leader 2010年11月～現在に至る
- (8) 神戸家庭裁判所(本庁) 家事調停委員 2014年10月1日～現在に至る
- (9) 大阪女学院大学国際共生研究所(RIICC) プロジェクト3「ファシリテーション・メディアエーション研究」設立者・代表 2014年10月8日～現在に至る
- (10) The Charhar Institute(察哈尔学会) 高級研究員 2015年12月～現在に至る
- (11) 日本平和学会第24期理事 2020年1月～2021年12月
- (12) 日本平和学会第24期広報委員会委員長 2020年1月～2021年12月
- (13) 南京大屠殺史与国际和平研究院(the Institute of Nanjing Massacre and International Peace Studies, INMIPS) Special Fellow 2017年10月～現在に至る
- (14) 一般社団法人「みんなのいえ」(英語名：OBI, Okinawa Bridge-builders Institute Association Inc.) 設立時専門委員  
同上「へいわのがっこう(BBS, Bridge Builders'School)」スーパーバイザー 2020年3月～現在に至る
- (15) IMPCAT(米国 Brandeis University, International Center for Ethics, Justice and Public Life, Peacebuilding and the Arts, “IMPACT-Imagining Together: Platform for Arts,

Culture and Conflict Transformation”プロジェクト) Transitional Board, board member  
2021年9月～現在に至る

**Ⅶ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究**

- (1) 「分断された地域コミュニティの「対立・葛藤変容」に向けた分析とプログラムの提示」科学研究費基盤研究(B) 平成31～35年

大塚 朝美(おおつか・ともみ) [英語音声教育, TESOL]

**Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)**

- (1) 「オンライン授業に思うあれこれ」, 大阪女学院大学・大阪女学院短期大学教員養成センター, 『英語教育リレー随想』第127号(2021年6・7月), 単著

**Ⅳ. 学会発表**

- (1) “Developing listening comprehension ability by helping college students to explore listening strategies to use English as a global lingua franca,” (Wakamoto, N., Saki, M., Otsuka, T., & Imai, Y.) AILA 2021 (online), August 19, 2021.  
(2) “A search for the ‘best-fit’ listening strategies,” (Otsuka, T., Saki, M., Imai, Y., & Wakamoto, N.) LET60 (online), August 22, 2021.

**Ⅴ. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 『『英語らしい発音』とは?世界で通用する英語の発音を目指そう!』, 大阪女学院大学・短期大学 オープンキャンパス, 2021年5月16日  
(2) 『『英語らしい発音』とは?世界で通用する英語の発音を目指そう!』, 大阪女学院大学・短期大学 オープンキャンパス, 2021年8月1日  
(3) 「英語音声の理論と教材作成:文強勢と音のつながり, イントネーションを中心に」, 大阪女学院大学「教員免許状更新講習」, 2021年8月9日

**Ⅶ. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究**

- (1) 「グローバルリンガフランカとしての英語とオーラルコミュニケーション能力の伸張」文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C) 研究分担者 2019年4月～2022年3月

朴 賢淑(パク・ヒヨンス) [キリスト教学, 宣教学, 実践神学]

**Ⅲ. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)**

- (1) 「キリスト教宣教としての茶の湯:大阪の史跡を中心に」『大阪女学院大学紀要』(第17号), 2021年3月, 単著.  
(2) 「目で見る聖書にふれる:大塚国際博物館でキリスト教絵画を体験する」『News Letter』(第21号), 大阪女学院教育研究センター, 2021年12月, 単著.

**Ⅵ. 学会および公的な機関の委員**

- (1) 日本基督教学会(近畿支部) 幹事

関根 聡(せきね・あきら) [社会学, 家族社会学, 福祉社会学, ジェンダー論]

**Ⅱ. 学術論文**

- (1) 「看護学生における性役割意識の一考察4」, 『吉備国際大学大学院社会学研究科論叢22号』, 2021年3月1日, 単著

**Ⅴ. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)**

- (1) 「高齢者介護をめぐる家族危機」, 姫路市人権啓発センター, 於:姫路市文化センター小ホール, 2021年6月21日.

**Ⅵ. 学会および公的な機関の委員**

- (1) 阪南市男女共同参画推進審議会 副会長 2014年7月～2022年3月

- (2) 一般財団法人 大学・短期大学基準協会 認証評価に係る評価員 2020年4月～2022年3月
- (3) 大阪市「令和3年度 東淀川区中学生勉強会事業業務委託」に係る委託事業者選定委員会 座長 2021年2月25日
- (4) 大阪市男女共同参画推進にかかる市民向け啓発・研修事業実施事業者検討会議（令和3年度 男女共同参画普及啓発事業分）座長 2021年6月2日

**Sponseller, Aaron C.** (スポンセラー・アーロン) [TESOL, Applied Linguistics, Early Childhood L2 Literacy, Study Abroad]

## II. 学術論文

- (1) “Exploring Chinese L1 Students’ Understanding of Plagiarism at an English-Medium University.” *大阪女学院短期大学紀要*, 第50号, 2021年3月, (individual).
- (2) “Measuring Attrition of L2 Productive Vocabulary Knowledge Over the Summer Vacation.” *Vocabulary Learning and Instruction*, in-press [Accepted for publication], (joint).

## VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究

- (1) Investigating the intercultural development of Japanese undergraduates attributable to study tours abroad 基盤研究 (B) (一般) 2021-2025 (代表)

**Swenson, Tamara** (スウェンソン・タマラ) [Communication]

## I. 著訳書

- (1) *Human rights today* (3rd ed.). Swenson, T. (Ed.). (2021). Osaka Jogakuin Press. (e-book). (Supervising Editor).
- (2) *Identity and values* (3rd ed.). Swenson, T. (Ed.). (2021). Osaka Jogakuin Press. (e-book). (Supervising Editor).
- (3) *Peace and values* (3rd ed.). Swenson, T. (Ed.). (2021). Osaka Jogakuin Press. (e-book). (Supervising Editor).
- (4) *Sustainable futures* (3rd ed.). Swenson, T. (Ed.). (2021). Osaka Jogakuin Press. (e-book). (Supervising Editor).
- (5) *Writing in English: A guide* (4th ed.). Swenson, T. (Ed.). (2021). Osaka: Osaka Jogakuin Press (e-book). (Editor).

## II. 学術論文

- (1) Motivational change after curricular revision: Intersections with out-of-class time use. In P. Clements, R. Derrah, & P. Ferguson (Eds.), *Communities of teachers & learners*, 135-144. JALT. <https://doi.org/10.37546/JALTPCP2020-xx> (Joint)
- (2) From recipients to nominations: Reframing the “Report on a Nobel Peace Prize Laureate” task in a content-based English program. *Global Issues in Language Education*. (Individual)

## IV. 学会発表

- (1) Generic vs. explicit grammatical feedback for Moodle quiz items. JALT International Conference. Online conference, November 15, 2021.

## VI. 学会および公的な機関の委員

- (1) *JALT Journal*, Editorial Advisory Board member, Jan. through Dec. 2020 (full year)
- (2) *JALT 2020 Conference Proceedings*, Editorial Advisory Board member, Jan. through Dec. 2020 (full year)
- (3) JALT 2021 Conference Proposal Reading Committee member, Jan. to March. 2020
- (4) 玉造カトリック教会, 聖マリア大聖堂, 広報委員会メンバー, 2020年1月～12月(Tamatsukuri Catholic Church, St. Mary’s Cathedral, Publicity Committee member, Japanese to English

and English to Japanese translation as needed, and English publicity, Jan. through Dec. 2021 (full year)

高橋 宗瑠(たかはし・そうる)〔国際人権法, 国際難民法, 国際人道法, イスラマフォビア〕

## II. 学術論文

- (1) “The Ummah: Guardian of Muslims in an Age of Weakened Citizenship Rights”, in *TAFHIM: IKIM Journal of Islam and the Contemporary World*, December.
- (2) “Islamophobia in Japan: a Country at a Crossroads”, in *Islamophobia Studies Journal*, Special Issue on Islamophobia in Asia, Pluto Press, Vol. 6 No. 2 (2021) at pp.167-181.

## III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)

- (1) “The Gang’s All Here: New Western Imperialism in the South China Sea”, *Politics Today*, SETA, November.
- (2) “The Quad and Japanese Nationalism: the Genie is Out of the Bottle”, *Politics Today*, SETA, June.
- (3) Yesh Din, “Reaping the Sorrows: a Summary of the 2019 Olive Harvest”の和訳監修, ヒューマンライツ翻訳ネット, March.
- (4) “ICC Probe in Palestine Brings Some Hope to the Palestinians At Last”, *Politics Today*, SETA, February.

## IV. 学会発表

- (1) “Palestine: the Importance of International Law and International Justice”, at Global Coalition for Quds and Palestine, Baitul Maqdis Pioneers 12<sup>th</sup> Conference, December.
- (2) “Muslims as the Permanent State of Exception: Japan and Denmark”, at University of Alberta, Islamophobia and/in Post-Secular States, Panel: “Law, State of Exception, and Capitalism”, November.
- (3) “Japan’s 2021 Elections: Issues, Challenges and Prospects”, at Council of Asian Liberals and Democrats, “Japan’s 2021 Elections: Issues, Challenges and Prospects”, November.
- (4) “The Committee against Torture: Challenges and Opportunities”, at Thai Foreign Ministry, “Reflections on 35 Years of the Committee against Torture and Ways Forward”, September.
- (5) “‘We’re Just Cleaner Than Them’: Xenophobia and Nationalism in Japan under Covid-19”, at Asia Centre annual conference “Covid-19 in Asia: Communication, Nationalism, Technology”, September.
- (6) 「ビジネスと人権：日本企業の取り組み」, 世界人権問題研究センター, ビジネスと人権プロジェクトチーム, June.

## V. その他の発表(シンポジウム・講演・放送等)

- (1) “Is Israel a Jewish State or an Apartheid State?”, BDS Malaysia, August.
- (2) 「パレスチナの人権状況と日本政府に求められている姿勢」, 人権外交を推進する国会議員連盟, May.
- (3) 「パレスチナ人は苦しみ続ける：なぜ国連で解決できないのか」, 大阪YWCA, May.
- (4) “The EU and the War in Yemen: The Current Situation and the Way Forward”, *Euro-Mediterranean Human Rights Monitor*, April.
- (5) “Participation of Civil Society in UN Human Rights Mechanisms: on the occasion of the publication of the book *United Nations Commission on Human Rights* with Mr. John Pace”, Tokyo University Human Security Programme and Hu-rights Osaka, January.

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) International Islamophobia Studies Research Association, 初代財務担当理事.
- (2) 世界人権問題研究センター, ビジネスと人権プロジェクトチーム委員(京都).
- (3) Member, Human Rights Advisory Board, Japan Tobacco International, Geneva.
- (4) Member, Advisory Board, Asia Centre, Bangkok.

**VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究**

- (1) 「ムスリム移住者との共生：国際人権法から見たデンマーク新政策の事例」(単独), 日本学術振興会科学研究費補助事業, 研究活動スタート支援, 2019-2020年度(2年間).

**Teaman, Brian** (ティーマン・ブライアン) [Phonetics, Pronunciation, Computer Assisted Language Learning]

**II. 学術論文**

- (1) Students' Views on ICT for English Learning During the Pandemic. JALT Postconference Publication-Issue 2020.1, August 2021, joint work.

**VI. 学会および公的な機関の委員**

- (1) Japan Association for Language Teaching (JALT) Computer Assisted Language Learning (CALL) SIG Program Chair 2021~

**山本 淳子**(やまもと・じゅんこ) [英語教育, 第二言語習得, 動機づけ, CALL]

**II. 学術論文**

- (1) "Students' Views on ICT for English Learning During the Pandemic" JALT Postconference Publication-Issue 2020.1, August 2021, joint work
- (2) 「大学生が活用するICTの機能と学習意欲の関係」『英語授業研究学会』(30) 2021年12月, 単著

**III. その他の著作(研究ノート・報告書・雑誌・新聞・ニュースレター等)**

- (1) 「パワポの功罪」大阪女学院大学・短期大学, 教員養成センターホームページ, 英語教育リレー随想(128), 2021年8-9月

**VII. 科学研究費等の公的な研究補助を受けた研究**

- (1) 協同学習支援を用いた英語ライティング指導の試み. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(研究分担者). 2018年度-2021年度.

